



地震や津波で 死なないために

—心に刻む5つのこと—

首都直下地震や南海トラフ巨大地震の危険が叫ばれていますが、日本全国、いつどこで巨大地震は起きてもおかしくありません。その時に、私たちはどうすれば命を守れるのでしょうか？



監修

東京大学地震研究所助教
大木聖子



写真提供：海上保安庁
防災科学技術研究所 E-ディフェンス

本編 15分 [C#3134]

DVD 69,300円(本体66,000円)

※販売価格は2012年現在の税込価格です。
(消費税の変動により販売価格は変更の可能性があります。)



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

地震や津波で死なないために

—心に刻む5つのこと—

企画 意図

地震の活動期に入ったといわれている日本列島。首都直下地震や南海トラフ巨大地震の危険が叫ばれていますが、日本全国いつでも、大地震は起きうるといえます。地震や津波が起きた時、死なないためにはどうしたらいいか？ 地震学者の大木聖子先生のお話を交えながら、普段から私たちが心に刻むべきことを解説していきます。

内 容

心に刻めその1 P波を感じたら即座に揺れに備えろ！

緊急地震速報は、P波とS波という2種類の地震波の時間差を活用したものです。緊急地震速報の仕組みをCG映像で解説し、実際の地震の揺れが起こった時の映像を示した上で、P波を感じたらすぐに自分の身を守ることが大切だということを訴えます。

心に刻めその2 立ってられないほどの揺れを感じたら 頭を守れ！

地震による大きな揺れを感じたら、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を見つけ出して身を寄せることが何よりも大事です。頭を守ることが、生存確率を上げることを心に刻みます。

心に刻めその3 家や家具はあなたを殺す凶器になる！

地震による死因の多くは、家屋の倒壊や家具の転倒による圧死・窒息死です。地震実験の映像を通して、家の耐震補強や家具を固定することの重要性を伝えます。

心に刻めその4 3点セットを今すぐ準備！

もし就寝中に大きな地震が起これば、家中のガラスが割れ、停電した暗闇のなか家族を助けに行く…そのような状況になることも十分考えられます。このようなときでも非常用のシューズ・LEDライト・ホイッスルの3点を傍らに備えていれば、地震のときには大いに役立ちます。寝ている時の備えを十分に。またこの3点セットは日中でも役立ちます。

心に刻めその5 津波から逃げるには 少しでも早く 少しでも高い場所へ

強い揺れから助かったとしても、沿岸部では津波の危険があります。津波が起こるメカニズムを解説し、実験映像から津波の威力を示します。海岸の近くに住んでいなくても、仕事や旅行で海に行く場合があります。海岸近くで地震を感じたら、「少しでも早く、少しでも高い場所に避難すること」を心に刻んでください。

プロデューサー 中鉢裕幸
光田雅樹
田野稔
演出 高城泰吉郎
演出助手 舩谷滋威
撮影 満若勇咲

音声 茂木祐介
選曲 合田享生
ナレーター 北大輔
CGキャラクター制作 株式会社トマソン

■協力
SAVE ON
海上保安庁
防災科学技術研究所 E-ディフェンス
国土交通省 越美山系砂防事務所
独立行政法人 港湾空港技術研究所
鹿児島地方気象台
群馬大学災害社会工学研究室

制作協力 株式会社グループ現代
企画・制作 東映株式会社 教育映像部